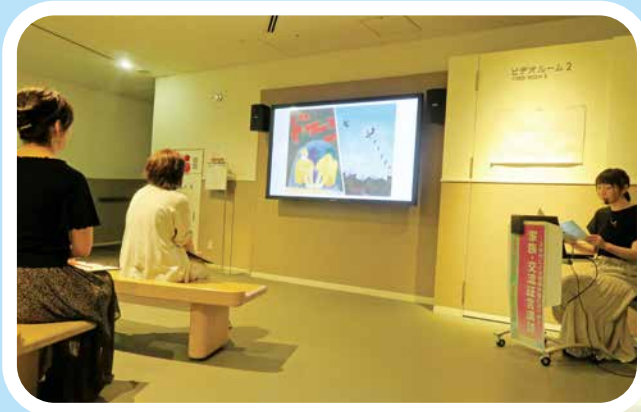


2020 ピース・ウイング長崎

平和のあゆみ



長崎市から新しく受託した5つの事業

公益財団法人 長崎平和推進協会

Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace

Contents

公益財団法人 長崎平和推進協会	1
設立の意義	
沿革	
事業	
会員制度	
組織図	
みんなで平和の輪を広げましょう！	
会員制度について	2
寄附金について	2
I 平和推進事業	
1 発刊	3
2 平和意識の啓発	4
3 被爆体験を継承する人材育成	7
II 長崎原爆資料館運営事業	12
III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業	12
IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業	12
V 収益事業	14
公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き	14
会員制度 賛助会員一覧	16



公益財団法人 長崎平和推進協会

設立の意義 ※設立趣意書から掲載

原子爆弾の惨禍を身を持って体験した長崎市民は、国境を越え、人種を超え、考え方の相違を乗り越えて、全世界に向かって恒久平和の実現を訴える責務があります。

全ての社会秩序の根幹は平和であり、平和でなければ、文化の向上も、科学の進歩も、経済の発展も望めません。しかし、現実の世界情勢は、核兵器の増加拡散が、また局部的な紛争や東西間の緊張がとどまることなく続いています。

長崎市は人類史上最後の被爆地でなければなりません。長崎市民は、全人類的な視野に立って、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するとともに、人類の福祉に貢献することが必要であると考えます。

沿革

長崎市は、原爆被災都市ナガサキの使命として、従前から長崎市の固有事務として各種の平和推進のための施策を行ってきました。

しかし、行政独自では種々のあい路があることから、この施策をさらに効果的に施行するために、昭和58年2月、広く市民の参加を求め、初代理事長 秋月辰一郎氏の「小異を残して大同に集まる」という理念のもと官民一体となった任意団体長崎平和推進協会を発足させ、被爆体験の継承をはじめ、平和に対する意識高揚のための事業に取り組んでまいりました。

長崎市民の悲願である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現という究極の理念達成のためには、さらに確固たる目的をもって永続性のある公益性の高い平和推進体制を樹立し、文化を基調とした事業を通じて、幅広い見識と高い知性の国際感覚に優れた市民を育成することが望めます。

このような理由から昭和59年4月1日、財団法人長崎平和推進協会を設立しました。以来、長年にわたって被爆体験講話をはじめさまざまな平和推進事業を展開してきました。平成21年4月1日には、財団設立25周年を

迎え、同年度中には記念式典や継承シンポジウムなど多彩な記念事業を行いました。

そうした中、100年ぶりともいわれる公益法人（財団法人・社団法人）の制度改革が行われることになり、平成20年12月1日には公益法人改革関連3法が施行されました。当協会は、業務の内容や組織の性格からも公益財団法人に移行することを目指し、2年間ほどの準備を経て、平成23年4月1日に公益財団法人として設立することができ、新たな歩みを始めました。

事業 ※定款から掲載

- (1) 平和に関する諸問題の調査研究
- (2) 原爆被災並びに平和に関する資料の収集、整理、活用及び情報発信
- (3) 被爆体験の継承並びに平和に関する講座、講演会等行事の開催
- (4) 国際平和機関との連携交流
- (5) 被爆体験の継承や平和意識高揚のための助成事業
- (6) 平和に関する出版物の刊行・頒布及び受託販売
- (7) 平和意識の普及に係る物品等の製作・販売
- (8) 法人の目的に適合する諸施設の管理運営等に関する受託事業
- (9) その他法人の目的を達成するために必要な事業

会員制度

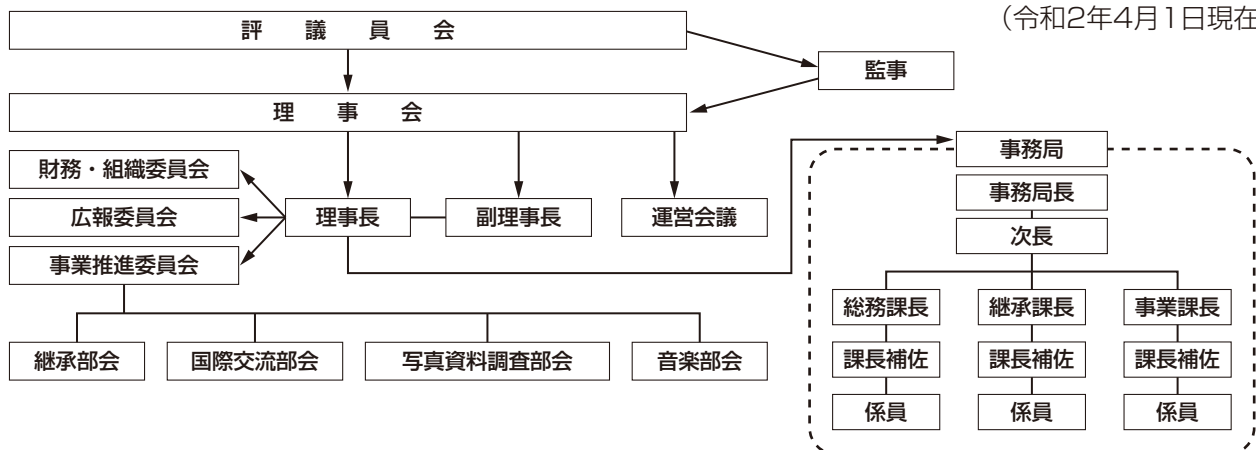
会費	維持会員（個人）	年額	3,000円以上
	賛助会員（団体・個人）	年額	1口10,000円
	学生会員	年額	1,000円以上
	（会員について詳しくはP2をご参照ください）		

会員による部会活動

会員が協会の事業目的を広く周知啓発するとともに円滑な事業遂行に寄与する。

- ①継承部会
- ②国際交流部会
- ③写真資料調査部会
- ④音楽部会

組織図





公益財団法人 長崎平和推進協会

みんなで平和の輪を広げましょう！

会員制度について

長崎平和推進協会は、長崎の願いである“核兵器廃絶と世界恒久平和”の実現を目指して活動しています。核兵器の恐ろしさや平和の尊さを次の世代に伝えていくために、協会が行う様々な平和への取り組みを支えていただく会員を募集しています。

会員制度には、個人の方を対象とする「維持会員」、団体・個人の方を対象とする「賛助会員」、「学生会員」の3つがあり、皆様からいただいた会費で、協会は成り立っています。

【会員制度と登録者数（令和2年3月31日現在）】

会員制度	年会費	登録者数
維持会員	3,000円以上	1,030人
賛助会員	1口10,000円	153件
学生会員	1,000円以上	12人

※賛助会員（法人・団体）の一覧はP16をご参照ください。



長崎平和推進協会シンボルマーク

平和のシンボル「はと」を官と民を示す両手が受け止めている様子を表しています。

【会員特典】

- ・会員証とオリジナルバッジの送付 ・会報「へいわ」の送付
- ・協会主催の講演会等（P6参照）への優先来場 ・長崎原爆資料館内「ピースカフェ」5%オフ
- ・協会発行の出版物やオリジナル商品（P14参照）を10%オフ

【会費の税額控除について】

協会会費は、「税額控除」の対象となります。確定申告の際に「会費領収証（振替払込請求書兼受領証）」と「税額控除に係る証明書」をご提出ください。

「税額控除に係る証明書」は、協会HP (<https://www.peace-wing-n.or.jp>) の「会員募集」のページより、ダウンロードできます。

確定申告についての詳細は、お近くの税務署までお尋ねください。

寄附金について

当協会は特定公益増進法人に該当するため、寄附者は寄附金控除を受けることができます。確定申告時に、当協会が発行する「寄附金領収証」及び当協会所管庁が発行した「税額控除に係る証明書」を添付することで、所得税及び法人税の優遇を受けることができます。

詳しくは、協会HP (<https://www.peace-wing-n.or.jp>) の「寄附金募集」をご参照ください。

令和元年度 寄附者一覧（敬称略・金額順）

- | | | |
|-------------------|-------------------------------|------------------|
| ・夏の会 (1,500,000円) | ・長崎市立長崎商業高等学校 商業クラブ (28,884円) | |
| ・緒方 操 (27,000円) | ・北城 祐二 (18,000円) | ・白鳥 純子 (16,000円) |
| ・上西 和紀 (10,000円) | ・川上 正徳 (10,000円) | ・木下 セツ (10,000円) |
| ・小池 豪 (10,000円) | ・土井 美智子 (10,000円) | ・松尾 蘭子 (10,000円) |
| ・山中 弘幸 (10,000円) | ・高橋 晃子 (3,000円) | ・山脇 佳朗 (3,000円) |
| ・増田 馨 (1,000円) | ・匿名寄附19件 (135,733円) | [合計1,802,617円] |

I 平和推進事業

1 発刊

① 会報「へいわ」の発行（年4回・令和2年3月現在 165号発行）

協会の事業活動や平和に関する最新情報を提供するとともに、会員のコミュニケーションを図るための機関誌として、会報「へいわ」を発行しています。

会員や関係各機関への送付の他、広く市民の平和意識の高揚を図る観点から、多くの市民が閲覧できるように、100号以降を協会ホームページに掲載しています。

1回あたりの発行部数 3,000部（A4判8ページ）



② ブックレット「平和のあゆみ」の発行（年1回）

協会が行った事業内容等をまとめたブックレット「平和のあゆみ」を毎年発行し、会員や関係各機関へ送付しています。

昭和61年から平成16年までは協会設立以降の事業等を紹介するA5判でしたが、平成17年度からは1年間の出来事を中心とする体裁に改めました。

1回あたりの発行部数 2,000部（A4判16ページ）



③ 情報BOXの発行（月1回・令和2年3月現在 235号発行）

会報「へいわ」発行の合間に、イベント開催予定などの最新情報の他、実施した行事報告などを掲載した「情報BOX」を、理事・監事・評議員、部会員や平和案内人などに毎月送付しています。

協会ホームページからも閲覧できます。

1回あたりの発行部数 約300部（A4判・両面1枚）



④ 協会会員入会案内リーフレットの作成

協会の事業内容の紹介とともに、事業活動の状況や会員の特典などを説明した「協会会員入会案内リーフレット」を作成しています。会員拡大を図るため、長崎原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館などで配布しています。

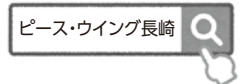


⑤ ホームページ（URL <https://www.peace-wing-n.or.jp/>）

協会の設立趣旨や事業概要などの紹介、被爆体験講話・平和案内人をはじめとする平和学習の申込方法の案内の他、会報「へいわ」やブックレット「平和のあゆみ」などを掲載しています。

また、協会発行の出版物やオリジナル商品などのインターネット販売も行っています。

※当協会の愛称「ピース・ウィング長崎」は広報紙や全国公募ガイドなどを通して呼びかけ、決定したものです。「長崎から平和を訴えていくための翼となってほしい」という願いが込められています。



⑥ LINE

平成30年10月より、協会のイベント情報など最新のニュースを、毎週月曜日に発信しています。

会報「へいわ」や情報BOXに間に合わなかった情報などもお知らせしています。ぜひ、お友達登録をお願いいたします。



LINE QRコード

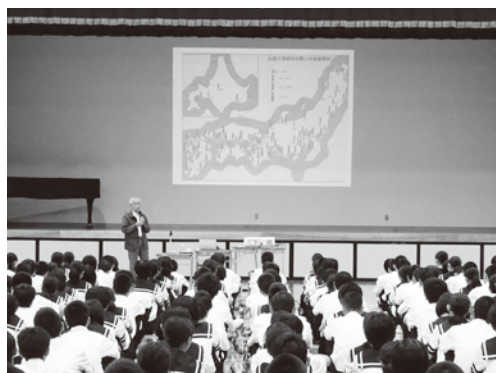
2 平和意識の啓発

① 平和学習（被爆体験講話）の実施

長崎市内で平和学習に取り組む小中高校や団体などから依頼を受け、被爆者（継承部会員）が自らの被爆体験や平和の大切さをお話する「被爆体験講話」を実施しています。

修学旅行などで長崎を訪れる県外の学校・団体からの申込が多数ですが、海外からの団体や、長崎県内の小中高校などにも講話を行っています。

近年は平和学習の多様化や少子化などの影響もあり、申込件数は減少傾向にあります。令和2年2月末からは、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、講話の延期やキャンセルが相次ぎました。



被爆体験講話の様子

被爆体験講話の年度別件数

年 度	講話件数
平成22年度	1,333
平成23年度	1,352
平成24年度	1,342
平成25年度	1,312
平成26年度	1,355
平成27年度	1,369
平成28年度	1,227
平成29年度	1,253
平成30年度	1,191
令和元年度	1,168

令和元年度 講話件数・受講者数 内訳

区 分	講話件数		受講人数
	全体	うち市内	
小 学 校	539	65	49,721人
中 学 校	336	29	42,183人
高等学校	210	4	40,368人
一 般	83	19	7,931人
計	1,168	117	140,203人

※表中の「うち市内」は、
長崎市内の小学校・中学校・高等学校・一般の講話件数

【県外での被爆体験講話】

長崎市内での活動以外にも、全国の自治体などから依頼を受け、その市町村を継承部会員が訪れて被爆体験講話を行っています。講話の他、被爆後の惨状を写した写真展示やDVD上映なども実施して、原爆の脅威や惨状を伝え、核兵器廃絶と平和の大切さを訴えています。

令和元年度 県外での被爆体験講話

* 有田市・柳井市・徳島市では「県外原爆展」として実施

開催場所	実施日	受講人数	開催場所	実施日	受講人数
宮崎県日向市	7月2日	817人	千葉県浦安市	9月29日～30日	609人
大阪府八尾市	7月2日～5日	2,849人	神奈川県藤沢市	10月16日～17日	1,851人
* 和歌山県有田市	7月4日～5日	280人	* 徳島県徳島市	10月23日	44人
* 山口県柳井市	7月29日	60人	鹿児島大学	11月17日	50人
須磨学園中学校	9月17日	157人	新潟県柏崎市	2月6日	100人

【長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業】

長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」では、継承部会員が県内市町の小中学校や県外の大学を訪れ、被爆体験をお話ししています。

県内市町（小中学生対象）

派遣市町	実施日	受講人数
大村市	6月7日	714人
川棚町	6月7日	65人
佐々町・平戸市	6月18日	188人
南島原市	6月20日	301人
対馬市	6月27日～28日	260人
西海市	7月11日	157人

県外大学（留学生対象）

大学名	実施日	受講人数
佐賀大学	5月15日	40人
九州大学	1月20日	60人

【海外での被爆体験講話】

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が主催する「海外原爆展」に継承部会員を派遣し、被爆体験講話を行いました。

平成17年度に始まったこの事業は、これまでスペイン、マレーシア、ロシアなど13か国で実施し、アメリカではシカゴ、ラスベガス、セントポールに続いて4回目の実施となりました。

開催地：アメリカ合衆国フロリダ州
オーランド市、ウィンターパーク市
実施日：10月7日～10日
講話者：清野定廣氏
聴講者：335人（全4回合計）



バレンシアカレッジでの講話の様子

2 原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）の貸出

修学旅行などの事前学習の他、写真展の開催などに役立ててもらうため、原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）を無料で貸し出しています。

令和元年度 写真パネル・DVD（ビデオ）貸出実績

区分	写真パネル	DVD（写真）	
	件数	件数	本数
小学校	5	10	19
中学校	1	16	37
高等学校	3	23	49
一般（自治体等）	9	21	47
計	18	70	152

※1回の貸出上限は、
写真パネル…1セット
DVD（ビデオ）…3本まで
となっています。
事前の申し込みが必要です。



3 講演会の開催

会員及び市民に世界恒久平和への諸問題について認識を深めてもらうため、講演会を実施しています。
令和元年度は、7月に映画「サクラ花」上映と特別限定高座を行った他、11月には「ナガサキー核戦争後の人生」の日本語版出版を記念したイベントも開催しました。

<これまでの主な講演会（抜粋）>

開催日	講師（敬称略）	演題	備考
平成9年10月26日	吉永小百合（女優）	原爆詩朗読	国連軍縮週間講演会
平成11年7月28日	吉永小百合（女優）	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成11年12月17日	吉永小百合（女優）	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成15年7月25日	吉永小百合（女優）	原爆詩朗読	協会設立20周年記念 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館開館記念
平成16年2月25日	美輪明宏（歌手・タレント）	「愛と平和の祈りをこめて」	協会設立20周年記念
平成17年12月9日	なかにし礼（作家）	「自由から創造へ」	被爆60周年
平成21年2月6日	アグネス・チャン（歌手）	「みんな地球に生きる人」	協会設立25周年記念
平成24年2月18日	八名信夫（俳優）	「にぎりめしひとつ この平和を大切にしてほしい」	
平成25年3月16日	上條恒彦（俳優） 加賀美幸子（アナウンサー）	「平和朗読～明日、 あなたが語るナガサキ」	
平成26年2月9日	神田香織（講談師）	「はだしのゲンを語り続けて」	
平成27年2月7日	蓮池 薫（大学准教授）	「夢と絆」	
平成27年12月13日	カン・サンジョン 姜 尚中（政治学者）	「ナガサキ」と「フクシマ」の間 ー核なき世界を求めてー	被爆70周年
平成29年2月19日	宮川泰夫（元アナウンサー）	であいふれあいひびきあい ～「のど自慢」12年の旅から～	
平成30年2月12日	一龍斎春水（講談師）	一龍斎春水が語る「火垂るの墓」	
平成31年2月10日	松瀬学（スポーツジャーナリスト・ノンフィクション作家）	「平和とスポーツ」 ～ラグビーワールドカップ2019に向けて～	
令和元年7月17日	林家三平（落語家） 松村克弥（映画監督） 城之内正明（俳優）	「戦争と演芸」 映画「サクラ花」上映 特別限定高座「出征祝」 トークショー	
令和元年11月9日	スーザン・サザード	スーザン・サザードさんと語る 「朗読会と家族の思い出」	



特別限定高座「出征祝（国策落語）」
林家三平さん



スーザン・サザードさん

4 国連軍縮週間「市民のつどい」

昭和53年5月23日、第1回国連軍縮特別総会において、国連が発足した10月24日から1週間を「国連軍縮週間」とすることが決定しました。これを記念して、世界各地で様々な行事が行われています。

協会では、市民の平和意識の高揚と平和問題への認識を深めることを目的に、協会が発足した昭和58年から「市民のつどい」を開催しています。今回も晴天に恵まれ、長崎県地域婦人団体連絡協議会長崎市婦人会や活水高等学校、4部会（継承部会・国際交流部会・写真資料調査部会・音楽部会）の協力のもと、様々なコーナーを設置しました。



令和元年度 開催内容

開催日	10月26日 ※軍縮週間中の土曜日に実施
場所	長崎原爆資料館前階段下広場
コーナー	戦時食、エコ風船、折り鶴、原爆写真展示、ミニコンサート、綿菓子・ポップコーン

3 被爆体験を継承する人材育成

1 部会活動

【継承部会（部会員 44人）】

自らの被爆体験や平和への思いなどを、「被爆体験講話」として話しています。年間実績など、講話の詳細は4～5ページに掲載しています。

講話以外にも、部会内に事業班を作り、活動しています。令和元年度には「英語研修班」を発足して英語での被爆体験講話に取り組んだ他、継承交流班では「被爆体験の深化講座」を始めるなど、7つの班に分かれて様々な活動に取り組んでいます。

【国際交流部会（部会員 27人）】

新しく長崎に来た留学生や社会人の皆さんに市民との出会いの機会を提供する4月の「ポットラックパーティー」、国の紹介や研究内容など様々なことを話していただく「国際交流の夕べ」などを開催しています。市内在住の外国人や留学生と交流を深め、長崎の平和の願いを理解してもらう「外国人と市民の集い」は33回目を迎えました。

どなたでも参加できる、親しみやすい集まりです。



【写真資料調査部会（部会員 9人）】

被災写真や平和関連資料の収集と調査・整理とともに、定期的に原爆写真展を開催しています。令和元年度は、「写真で見る被爆体験記」と題し、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジで開催しました。

また平成29年度より継続して、長崎市から米国国立公文書館の資料検証業務を受託しており、部会内で検証作業に取り組んでいます。



【音楽部会（部会員18人）】

音楽を通じて平和を訴えることを目的として、国連軍縮週間行事の「市民のつどい」において、「長崎の鐘」や「千羽鶴」など、誰もが口ずさめる歌の合唱など行っています。

また、恒例の長崎平和音楽祭実行委員会の主要メンバーとしても活躍しています。



2 アジア青年平和交流事業

アジア諸国と日本の若者との交流事業は、平成15年に協会設立20周年の記念事業としてスタートし、長崎と韓国、マレーシアなどの若者がお互いの国を相互訪問して交流を図ってきました。

平成23年度からは、長崎県内の大学生や高校生等の自主企画を対象に公開審査を行い、選ばれた企画を認定して協会から業務委託する「企画採用方式」に変更して実施しています。

令和元年度は、2チームを認定しました。

【令和元年度 認定事業】

長崎県立大学シーボルト校金村ゼミ「Peace Pieceプロジェクト」

文字や写真で平和を伝える「平和カレンダー」を作成し、長崎原爆資料館等で配布した。

長崎純心大学 Green Pieces

外国人と一緒に平和を考える「Peace Forum」を国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で開催した。



【相互訪問の実績（抜粋）】

第1回（平成15年）韓国青年の来崎（6人）、長崎青年の訪韓（6人）

第6回（平成20年）長崎青年の訪シンガポール・マレーシア（5人）、マレーシア青年の来崎（2人）

第8回（平成22年）マレーシア・韓国の青年の来崎（4人）

【公開審査認定事業（過去2年分）】

平成29年度 ・活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」

・長崎外国語大学 国際交流プロジェクト

・長崎大学 Peace Caravan隊

・長崎県立大学シーボルト校金村ゼミ「Peace Pieceプロジェクト」

・長崎純心大学 Green Pieces

平成30年度 ・活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」

・長崎県立大学シーボルト校金村ゼミ「Peace Pieceプロジェクト」

・長崎純心大学 Green Pieces

3 秋月グラント

平成10年、当協会設立15周年を機に「ナガサキ平和創設グラント」を創設し、平和意識高揚のための事業などを行う団体や個人を助成してきました。

平成16年、協会の初代理事長である故・秋月辰一郎氏を顕彰しようという機運が高まり、「秋月グラント」と名称を改め、多くの方々に助成制度を利用していただけるよう門戸を広げました。

令和元年度 秋月グラント事業助成状況

団体・個人名	事業名称	事業目的・内容	実施日・場所
長崎おり鶴再生画用紙子ども絵展実行委員会	長崎おり鶴再生画用紙子ども絵展	おり鶴の再生画用紙に子どもたちが描いた平和の絵を、各所に展示し、平和のメッセージを世界に発信する。	7月27日～8月31日 長崎原爆資料館、 長崎市歴史民俗資料館 メガネのヨネザワ
長崎の証言の会	長崎の被爆証言運動を振り返る	半世紀に及ぶ被爆証言運動の歩みを記録した記念誌を作成・発行し「被爆体験の継承」をめぐる議論を活性化させる。	12月15日刊行

4 平和案内人の育成と派遣

原爆投下から70年以上が経過し、被爆の惨状を知る被爆者も高齢となり、その数も年々少なくなっています。

このような現状を踏まえ、協会では長崎原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、周辺の被爆建造物等のガイドを行う平和案内人の育成・派遣に取り組んでいます。平成16年度に第1期生の育成講座を開講し、現在では第1期生から第6期生まで149人が登録・活動しています。また被爆75年を前に、第7期生の育成講座を開講しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月29日以降の長崎原爆資料館常駐ガイドと育成講座は中止となりました。

【活動内容】

①長崎原爆資料館常駐ガイド（無料）

長崎原爆資料館正面玄関に待機し、案内を希望する来館者を対象に30分～1時間程度、長崎原爆資料館と国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館を案内します。

②長崎原爆資料館予約ガイド（1,500円/平和案内人1人）

学校・一般来館者からの事前申込を受け、長崎原爆資料館と国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館を案内します。お客様10人に対し、ガイド1人を派遣します。

③碑めぐりガイド（1,500円/平和案内人1人）

長崎県内の学校・一般客からの事前申込を受け、お客様10人に対してガイド1人を派遣します。被爆建造物等や平和公園など、希望に応じた箇所を案内します。

【活動実績（令和元年度）】

区分	申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延)
常駐ガイド	2,115件	8,999人	1,304人
資料館予約ガイド	77件	2,234人	247人
碑めぐりガイド	266件	8,704人	953人
合計	2,458件	19,937人	2,504人



長崎原爆資料館内のガイドの様子

【研修活動】

平和案内人の研修や事務局との意見交換のため、年3回程度の「全体会」を開催する他、各班による自主研修を実施しています。

令和元年度は、長崎大学核兵器廃絶研究センター副センター長の広瀬訓氏より「核兵器をめぐる最近の流れ」と題した講演の他、（公財）放射線影響研究所顧問の中村典氏などからもお話を伺いました。

【第7期 平和案内人育成講座】

実施期間：11月23日～3月10日（全15回） 応募者数：39人
※うち第13～15回は延期

令和2年5月からの活動開始を目指して、11月23日に第1回講座を開講しました。3月10日に修了式を予定し、研修を重ねてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第13回～第15回の講義は翌年度に延期となりました。



第1回 平和案内人育成講座

5 被爆体験次世代継承業務

平成31年4月より、長崎市から新しい5つの事業を受託しました。

【県外原爆展】

長崎県外の方々に、原爆の悲惨さや平和の大切さを知ってもらい、長崎市民の核兵器廃絶の願いを伝えるため、継承部会員による被爆体験講話と、写真資料調査部会員による展示資料解説を行いました。

令和元年度の開催実績（被爆体験講話の実績はP4参照）

和歌山県有田市 7月4～5日（420人来場）

山口県柳井市 7月29日～8月2日（260人来場）

徳島県徳島市 1月27～30日（716人来場）



【語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）推進事業】

被爆者の被爆体験を語り継ぐ「家族・交流証言者」を支援し、長崎市内に派遣することで、被爆体験の次世代の語り部への継承を推進します。

国の支援事業として、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が窓口となり、「家族・交流証言者」を長崎市外（海外を含む）へ派遣します。

令和元年度末の登録者数等（実施回数は祈念館派遣分を含む）

登録者83人（うち講話可能者延べ38人） 講話実施回数 164回



【青少年ピースボランティア育成事業】

中学生を除く15歳から30歳未満の青少年が被爆の実相や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動することにより、被爆体験の継承と平和意識の高揚を図りました。

令和元年度末の登録者数

163人（高校生62人、大学生78人、専門学校生等6人、社会人等17人）



【青少年ピースフォーラム】

8月9日の平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と、地元長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を図りました。

青少年ピースボランティアがホスト役として事業を運営し、参加型平和学習や原爆資料館周辺のフィールドワークなどを実施しました。



実施日：8月8～9日

全国自治体参加者485人、青少年ピースボランティア67人、少年平和と友情の翼参加者23人

【青少年平和交流（少年平和と友情の翼）】

3年に1回、長崎市内の中学生を対象として、沖縄県内の戦跡や平和関連施設の見学、那覇市の中学生との交流や双方の戦争被害について伝え合うなど、「学び、伝える」研修を行います。令和元年度は、長崎市内の中学生30人を沖縄県那覇市へ派遣しました。研修リーダーとして青少年ピースボランティアも参加し、事前・事後学習などの補助などを行いました。



実施日：8月16～18日

6 共催・後援等事業

令和元年度 共催事業

事業名	主催団体	開催日	開催場所
第11回 ～語り合おう in Nagasaki～ 外国人による日本語弁論大会	外国人による日本語弁論大会 実行委員会	6月15日	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ
第31回 ながさき平和大集会	核兵器廃絶地球市民長崎集会 実行委員会	6月16日	長崎原爆資料館ホール
第34回 長崎平和音楽祭	長崎平和音楽祭実行委員会	7月27日	長崎市平和会館ホール
アジアの若者による 平和ネットワーク構築プログラム	国立長崎原爆死没者 追悼平和祈念館	2月10～12日	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ

令和元年度 後援事業

事業名	主催団体	開催日	開催場所
未来のいのち国際サミット2019 in 長崎	にこにこ一般財団法人	4月20日	長崎大学医学部 良順会館
映画「あの日のオルガン」 長崎県上映運動	映画「あの日のオルガン」を 長崎県内に広げる会	7月～3月	長崎県内全市 (文化施設他)
長崎平和アートプロジェクト(ナヘア) 2019	長崎平和アートプロジェクト	7月20日～8月31日	長崎原爆資料館他
第12回 紙しばい発表会	紙しばい会	7月21日	長崎原爆資料館 平和学習室
国際平和シンポジウム2019 「核兵器廃絶への道」	朝日新聞社、広島市 (公財)広島平和文化センター	7月27日	広島国際会議場
第66回 長崎原爆忌平和祈念俳句大会	長崎原爆忌平和祈念俳句大会 実行委員会	8月3日	長崎原爆資料館 平和学習室
第2回 長崎平和祈念茶会	(一社)茶道裏千家淡交会 長崎支部他	8月4日	長崎原爆資料館 いこいの広場
2019 ピースアクション in ナガサキ 虹のひろば	日本生活協同組合連合会 長崎県生活協同組合連合会	8月8日	長崎市民会館 文化ホール
被爆74年 連合 2019 平和ナガサキ集会	日本労働組合総連合会	8月8日	長崎県立総合体育館 メインアリーナ
第57回 原爆忌文芸大会	NPO法人長崎国際文化協会	8月10日	長崎ブリックホール
川村奈美子ピアノリサイタル ～平和を願って～	(一社)アルテ・クラシカ協会	11月9日	NBCビデオホール
第41回 平和の使者 クリスマスカードコンテスト	長崎YMCA 長崎ワイズメンズクラブ	11月28日～12月26日	長崎YMCA他
特別市民セミナー 「歴史と向き合う 被爆地から学んだこと」	核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU-NC)	11月10日	長崎原爆資料館ホール
NAGASAKI Love & Peace Message 2019	国立長崎原爆死没者 追悼平和祈念館	12月15日	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ
NPT再検討会議にむけた学習講演会	生活協同組合ララコープ	2月8日 2月9日	長崎市立図書館 アルカスSASEBO

II 長崎原爆資料館運営事業（原爆資料館 原爆・平和総合案内業務）

長崎市からの受託事業として、令和元年8月31日まで、長崎原爆資料館展示室の観覧料徴収、正面玄関での総合案内を行いました。展示物の案内、平和公園周辺を含めた市内の館内施設のルート案内等も行うことで、長崎原爆資料館の運営の一翼を担い、協会の目的である平和推進に取り組みました。

長崎原爆資料館等の指定管理者制度導入に伴い、令和元年9月1日から指定管理者による施設運営へと移行しました。



III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業（原爆資料館 図書資料整理業務）

長崎市からの受託事業として、令和元年8月31日まで、原爆被爆の実相や平和推進に関する様々な書籍の購入、資料の収集・整理などを通じて、図書室としての情報発信の観点から、協会の目的である平和推進に取り組みました。

長崎原爆資料館等の指定管理者制度導入に伴い、令和元年9月1日から指定管理者による施設運営へと移行しました。



IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（令和元年度の主な事業）

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づいて平成15年に開館した「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の施設管理と事業運営を国から受託し、様々な事業を行っています。

原爆死没者の氏名・遺影の登録及び死没者名簿の保管

原爆死没者を追悼するとともに、原爆で多くの方が犠牲になった事実を伝えるため、氏名・写真（遺影）を収集し、登録のうえ館内で公開しています。また、原爆死没者の氏名を記載した「原爆死没者名簿」を追悼空間に保管しています。

年度別登録状況
（過去3年分）

年度	遺影 登録者数
平成29年度	285人
平成30年度	343人
令和元年度	329人
累計	9,698人



追悼空間

被爆体験記などの収集・整理・公開

原爆の惨状を多くの人に伝えるため、被爆者が書かれた被爆体験に関する手記・日記・書簡や、遺族・友人らによる追悼記などを集めています。収集した被爆体験記は、遺影・手記閲覧室内の情報端末機器などで公開・展示しています。

令和元年度には124人分の体験記を収集し、累計で1,456人分となりました。



遺影・手記閲覧室

被爆体験記執筆補助

「被爆の記憶を体験記として残したいけれど、自分一人では文章にまとめられない」という被爆者の方を対象として、職員による聞き取りと代筆を行います。平成17年度から実施しており、令和元年度は56人の聞き書きを行い、累計で75人分の体験記を作成しました。

被ばく医療関連情報の収集・整理・提供（被爆者健康講話）

長崎大学原爆後障害医療研究所の協力のもと、健康維持に役立つ「被爆者健康講話」を6月から毎月1回（原則として第3木曜日）開催しました。全10回の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3月は中止となりました。



被爆者健康講話の様子

海外原爆展の開催

10月7日から11月2日にかけて、アメリカ合衆国フロリダ州オーランド市で開催しました。被爆体験講話を計4回実施した他、写真展示会場には折り鶴コーナーも設けられました。期間中5,600人の来場がありました。

ピースネットの実施

追悼平和祈念館と遠隔地の学校などをインターネット会議システムで結び、被爆体験講話などを実施しています。東日本を中心とした小学校など国内18回の他、ベラルーシ、ウクライナ、モンゴルとも接続し、合計21回実施しました。

平和ボランティア育成外国語講座

平和公園周辺などを外国語で案内するボランティアガイドを育成しています。令和元年度は英語17人、韓国語14人、中国語9人が修了しました。

アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム

アジアの若者による平和ネットワークの構築・拡大を目指しています。

今回からメインプログラムとして「第1回 Youth Conference in Nagasaki」を開催し、マレーシア7人、韓国5人の若者らの他、国内大学の留学生や日本人学生など、13か国33人が集まり、核兵器廃絶について話し合いました。

被爆体験記朗読ボランティア育成・派遣

被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ ^{とわ}永遠の会」は、追悼平和祈念館内での常駐朗読を始めとした朗読活動を行いました。

令和元年度実績：常駐朗読174回、定期朗読会14回、派遣朗読98回、朗読劇など1回

国際平和祈念祭（Nagasaki Love & Peace Message）の開催

12月15日、昨年まで実施していた「長崎国際平和映画フォーラム」をリニューアルして開催しました。映画「聲の形」「ひろしま」の上映の他、永遠の会による朗読劇、映画音楽の演奏や群読などを行いました。

企画展の開催

テーマに沿った被爆体験記を選出し、追悼平和祈念館が保有する資料とともに展示する企画展を開催しました。

令和元年度実績：「女性たちの原爆」平成31年1月30日～令和2年3月31日

家族・交流証言者等派遣

令和元年度は長崎市外へ177件（家族・交流証言講話101件、被爆体験記朗読会76件）の派遣を実施しました。

また、マレーシア・クアラルンプール市で家族・交流証言講話、被爆体験記朗読を6回実施しました。



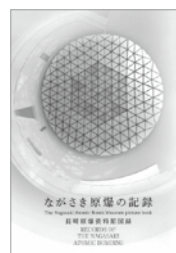
被爆体験記朗読の様子



V 収益事業（図書など販売）

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、原爆に関する書籍や平和グッズを販売しています。令和元年8月31日まで長崎原爆資料館内のミュージアムショップを運営し、販売していましたが、長崎原爆資料館の指定管理者制度導入に伴い、令和元年9月1日からは、委託契約での販売へ変更しました。

協会ホームページでは協会発行の出版物・オリジナル商品などを紹介しており、オンライン販売受付も行っていきます。



図書・グッズ販売ページ URL <https://www.peace-wing-n.or.jp/shop/>

【協会発行の出版物・オリジナル商品など取扱商品一覧】

- 書籍 ・ 原爆被爆記録写真集 ・ 長崎原爆資料館 ・ ながさき原爆の記録
・ ナガサキの記憶（中国語版） ・ ピーストーク（第8巻・第10巻）
- 商品 ・ 絵はがき（長崎原爆資料館） ・ 折り紙 ・ 折鶴ストラップ ・ 缶バッジ（2色）
・ キーホルダー（2種） ・ クリアホルダー（4色） ・ Tシャツ（龍柄2色・Peace柄3色）
・ トートバッグ（2色） ・ ピンバッジ（2種） ・ マグネット
・ ミニタオル（あじさい柄2色・折鶴柄2色）
* 折り鶴再生紙商品（一筆箋・名刺台紙（2種）・A4用紙・A4賞状用紙・A6リングノート）
* 紙芝居「嘉代子桜」 * ながさき平和学習ナビ（*は10%オフ対象外商品）

公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き

4月

- 5日 第1回 継承部会総会
- 6日 第1回 平和案内人全体会
- 9日 朗読会「9日を忘れない」（永遠の会）※以下、毎月9日に実施
- 16日 第1回 運営会議
- 19日 ポットラックパーティー（国際交流部会）
- 20日 青少年ピースボランティア学習会 ※以下、毎月実施
- 28日 家族・交流証言者 定期講話 ※以下、毎月第4日曜日に実施



「9日を忘れない」

5月

- 15日 第2回 運営会議
第1回 通常理事会
- 17日 国際交流の夕べ（国際交流部会）※以下、第3金曜日に実施
- 22日 原爆死没者名簿 風通し
- 29日 第1回 広報委員会
- 30日 定時評議員会・臨時理事会



5月15日 通常理事会

6月

- 15日 第11回 外国人による日本語弁論大会
- 16日 第13回 定期朗読会（永遠の会）
- 20日 第1回 被爆者健康講話 ※以下、第3木曜日に実施

7月

- 4～5日 県外原爆展（和歌山県有田市）
- 7日 青少年平和交流事業（少年平和と友情の翼）事前研修
- 8日 平和案内人・継承部会 合同研修会
- 17日 設立記念事業「戦争と演芸」
- 27日 第34回 長崎平和音楽祭（音楽部会協力）
- 29日～8月 2日 県外原爆展（山口県柳井市）
 - ～8月 5日 長崎県立長崎工業高等学校「語り継ぐ被爆体験イラスト作品展」
 - ～8月19日 写真展「写真で見る被爆体験記」(写真資料調査部会)



7月29日～8月19日
「写真で見る被爆体験記」

8月

- 8～ 9日 青少年ピースフォーラム
- 16～18日 青少年平和交流事業（少年平和と友情の翼）沖縄研修
- 23日 第2回 広報委員会
第2回 継承部会総会
- 25日 第1回 被爆体験の深化講座（継承部会・継承交流班）
- 31日 第2回 平和案内人全体会



8月31日 第2回平和案内人全体会

9月

- 7日 アジア青年平和交流事業 発表・審査会
- 15日 第1回 市民対象碑めぐり（継承部会・原爆遺跡研修班）
- 21・23日 家族・交流証言者 交流会



9月15日 市民対象碑めぐり

10月

- 17日～11月2日 海外原爆展「ヒロシマ・長崎原爆展」
（アメリカ・オーランド市）
- 20日 第14回 定期朗読会（永遠の会）
- 23日 県外原爆展被爆体験講話（徳島県徳島市）
- 26日 国連軍縮週間行事「市民のつどい」



11月9日 「朗読会と家族の思い出」

11月

- 9日 スーザン・サザードさんと語る「朗読会と家族の思い出」
- 10日 青少年ピースボランティア 佐世保バスツアー
- 16日 外国人と市民の集い（国際交流部会）
- 22日 第3回 広報委員会
- 23日～2月22日 第7期 平和案内人育成講座（～第12回）



11月16日 外国人と市民の集い

12月

- 1日 第2回 被爆体験の深化講座（継承部会・継承交流班）
- 12日 家族・交流証言者 定期講話 ※12月より第2木曜日にも実施
- 14～15日 青少年ピースボランティア 鹿児島研修
- 15日 Nagasaki Love & Peace Message 2019

1月

- 27～30日 県外原爆展（徳島県徳島市）
- 30日 第4回 運営会議



2月

- 2日 第3回 被爆体験の深化講座（継承部会・継承交流班）
- 8日 第3回 平和案内人全体会
- 8～9日 青少年ピースボランティア 広島研修
- 9日 第15回 定期朗読会（永遠の会）
- 10～12日 第1回 Youth Conference in Nagasaki
- 14日 海外活動報告会（継承部会・ピーストーク研修班）
- 16日 「被爆者が英語で語る被爆体験」（継承部会・英語研修班）
- 17日 第4回 広報委員会
- 25日 事業推進・財務組織委員会 合同会議
- 29日～ 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 臨時休館
平和案内人資料館常駐ガイド 活動中止
第7期 平和案内人育成講座 延期（第13回～15回）



第7期 平和案内人育成講座講座
(第3回 原爆資料館見学)



2月8～9日
青少年ピースボランティア 広島研修

3月

- 12日 第5回 運営会議
- 19日 第2回 通常理事会（書面決議での対応に変更）
- ※以下、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 8日 市民対象碑めぐり（継承部会・原爆遺跡研修班）
- 9日 朗読会「9日を忘れない」（永遠の会）
- 12日 家族・交流証言者 定期講話
- 13日 国際交流の夕べ（国際交流部会）
- 15日 アジア青年平和交流事業 事業報告会
- 22日 家族・交流証言者 定期講話
- 26日 第10回 被爆者健康講話



2月16日 「被爆者が英語で語る被爆体験」

会員制度 賛助会員一覧（団体・法人 敬称略）

旭丘高校の教育を守る会／朝日地区民生委員児童委員協議会／(株)イシマル／岩屋地区民生委員児童委員協議会／(株)インテックス
／(学)ヴィアートル学園 洛星中学校／(株)NDKCOM／(株)エビス堂／扇精光ホールディングス(株)／押刈クリニック／オックス総合
リース(有)／オリエンタルビル管理(株)／核戦争防止国際医師会議 長崎県支部／核兵器廃絶・平和建設 長崎県民会議／勝山地区民
生委員児童委員協議会／カトリック長崎大司教区／上長崎地区民生委員児童委員協議会／機電プラント工事(株)／九州印刷(株)／九
州教具(株)／(株)九州広告／(一財)九州電気保安協会／九州労働金庫／崎陽電気(有)／共楽園緑化建設(株)／協和機電工業(株)／
(株)クイックプリント／(医)倉田醫院内科婦人科／(一財)クリーンながさき／(医)行清会 鍛先医院／KNT-CTホールディングス(株)
／原水爆禁止長崎県協議会／原水爆禁止長崎県民会議／原爆被爆者特別養護ホーム かめだけ／光源寺／小神立神地区民生委員児童委
員協議会／西部ガス労働組合 長崎支部／さかい酒舎／坂本地区民生委員児童委員協議会／(株)三工電機／(株)JR長崎シティ／自治労
長崎市役所職員労働組合連合会／(株)事務機のみかドヤ／(株)ジャック・インターナショナル／(株)十八銀行／純心中学校・純心女子
高等学校／常在寺／(株)城保安警備／情報労連長崎県協議会／(株)昭和堂／ジョンソンコントロールズ(株)／新興善地区民生委員児
童委員協議会／(株)親和銀行／(株)スターライト／(株)せがわ住機／全国公益法人協会／(株)大和総業／高尾地区民生委員児童委員
協議会／(株)ディープリック／田園調布雙葉中学高等学校 学校行事部／土井首地区民生委員児童委員協議会／桃原寺／東武トップツ
アース(株)／(一社)東友会／磨屋地区民生委員児童委員協議会／(一財)長崎YMCA／(株)長崎環境美化／長崎県映画センター／(一
財)長崎県教育会／長崎県建設産業労働組合／(公財)長崎原子爆弾被爆者対策協議会／長崎県生活協同組合連合会／(一財)長崎県地域
婦人団体連絡協議会／長崎原爆遺族会／長崎県被爆者手帳友の会／長崎県平和運動センター／(一社)長崎国際観光コンベンション協
会／長崎市管工業協同組合／(一財)長崎市勤労者サービスセンター／(福)長崎市社会福祉協議会／長崎市小学校校長会／(公社)長崎
市シルバー人材センター／長崎自動車(株)／(一社)長崎市保育会／長崎市役所従業員組合／長崎市役所職員生活協同組合／(株)長崎
消毒社／長崎市老人クラブ連合会／(株)長崎新聞社／(一社)長崎青年会議所／(一社)長崎青年協会／長崎西彼農業協同組合／長崎ダ
イヤモンドスタッフ(株)／長崎地区労働組合会議／長崎電気軌道(株)／長崎放送(株)／(医)緑風会 長崎みどり病院／(医)光善会 長崎
百合野病院／長崎市立中学校校長会／(福)友愛会 長崎リハビリテーション／(有)ナカノコーポレーション／滑石地区民生委員児童委
員協議会／日本通運(株)長崎支店／日本空調サービス(株)九州支店／日本図書輸送(株)長崎営業所／日本放送協会 長崎放送局／日本
労働組合総連合会長崎県連合会／(株)橋本商会／(医)康仁会 林医院／(特非)ピースデポ／ピースポート／(株)日立ビルシステム／
(医)平野医院／(一財)広島国際文化財団／(株)藤木博英社／(株)プロダクションナップ／平和堂オフセット印刷(有)／ページワンブ
ランニング(株)／丸美産業(株)／ミライト(株)／(福)純心聖母会 恵の丘長崎原爆ホーム／山里地区民生委員児童委員協議会／(株)大
和屋／(福)基督教友愛館 友愛富士見町保育園／(株)ユースフル／(株)理研サービス

表紙写真

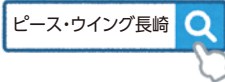
- 左上 語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）推進事業
- 右上 青少年ピースフォーラム
- 中央 青少年ピースボランティア育成事業
- 左下 青少年平和交流（少年平和と友情の翼）
- 右下 県外原爆展



平和のシンボル「はと」を官と民を示す両手が受け止めている様子を表しています。

(公財)長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7番8号
電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
URL:<https://www.peace-wing-n.or.jp/>



 (公財)長崎平和推進協会 公式LINE



PEACE_WING0809

(公財)長崎平和推進協会 公式Instagram



 長崎市の平和・原爆

会員募集中

協会会員になって、一緒に平和の輪を広げましょう!